

## 12. 理学部

(1) 理学部の教育目的と特徴	12-2
(2) 「教育の水準」の分析	12-4
分析項目Ⅰ 教育活動の状況	12-4
分析項目Ⅱ 教育成果の状況	12-10
【参考】データ分析集 指標一覧	12-12

## (1) 理学部の教育目的と特徴

### 1. 教育の目的と基本方針

理学部における教育の目的は、「自然現象の根本をつきつめる素養を養い、自然科学の発展に資するとともに社会への還元に貢献できるような人材の育成」である。

この目的を追求するために、次の基本方針によって教育活動を実施する。

- (1) 科学の基盤である理学のもつ広さと深さを、それぞれの専門性にもとづいて教育する。そのため、理学全般への幅広い視野と柔軟な思考を体得するための基礎教育を実践する。
- (2) 多角的な視点を身につけるため、人文・社会科学等に関連した科目を広く履修させ、知的刺激に満ちた学問的な雰囲気において自らの頭で考える習慣を身につけさせる。
- (3) これまで獲得されてきた科学の蓄積を継承し、その専門性を鋭く磨くことにより、創造性に繋がる研究の素養の育成に努める。

上記の基本方針は、名古屋大学学術憲章の教育に関する基本的目標「自発性を重視する教育実践によって、論理的思考と想像力に富んだ勇気ある知識人の育成、人材養成を通じた人類の福祉や世界・社会・文化・地域等の発展への貢献」を、理学分野で実現しようとするものである。

### 2. 目標と方針

理学部の教育目標として、「基礎知識の充実」、「深い思考力の涵養」、「広い視野の育成」を設定し、これを目指す教育プログラムの実施と教育のグローバル化への対応を第3期の重点目標にしている。

全学の中期目標・中期計画にそって、次の方針を立て、目標の達成に努めている。

- (1) 中期目標・中期計画に対応した方針や取組  
必修・選択科目の見直しとともに、全学教育・学部専門教育のカリキュラムを再編し、充実化を進める。
- (2) 中期目標・中期計画に対応した方針や取組  
グローバル30を活用した英語で行われる授業のみで卒業可能な学部教育カリキュラムの整備を行う。
- (3) 中期目標・中期計画に対応した方針や取組  
初年次教育に関して、学生とのコミュニケーションを重視したきめ細かい講義を行う。
- (4) 中期目標・中期計画に対応した方針や取組  
学生の視野を広めるために、企業研究者や国立研究機関研究者、外国人研究者の講義を充実させる。
- (5) 中期目標・中期計画に対応した方針や取組

## 名古屋大学理学部 教育活動の状況

学生の自主的な学習へのサポートの推進、就職支援のための情報提供・相談の充実、キャリアパス支援・インターンシップ等の取組を促進する。

### (6) 中期目標・中期計画に対応した方針や取組

国際的な研究交流のもとで、積極的に共同研究、学術交流を推進し、国際的な存在感を高める。

## (2) 「教育の水準」の分析

### 分析項目Ⅰ 教育活動の状況

#### <必須記載項目1 学位授与方針>

##### 【基本的な記載事項】

- ・ 公表された学位授与方針（別添資料 4512-i1-1）

##### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

#### <必須記載項目2 教育課程方針>

##### 【基本的な記載事項】

- ・ 公表された教育課程方針（別添資料 4512-i2-1）

##### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

#### <必須記載項目3 教育課程の編成、授業科目の内容>

##### 【基本的な記載事項】

- ・ 体系性が確認できる資料（別添資料 4512-i3-1～2）
- ・ 自己点検・評価において体系性や水準に関する検証状況が確認できる資料  
（別添資料 4512-i3-3）

##### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 数理、物理、化学では、学部と大学院の両面開講科目をおいている。学部4年生にとっては大学院教育に向けての橋渡し講義となっている。[3.5]
- 担当教員には、理学研究科に加え、多元数理科学研究科、環境学研究科に所属する教員を加えて、学際的教育を推進[3.3]
- 非常勤講師による先端的な学術動向に関する授業（総授業時間の1%）を実施[3.3]
- 数理学科では、社会課題や人材需要を踏まえた企業人による集中講義を実施（応用数理特別講義1,2）[3.2] [3.3]
- 数理学科では、社会課題や人材需要を踏まえた企業人によるオムニバス講義を実施（応用数理1,2）[3.2] [3.3]

<必須記載項目4 授業形態、学習指導法>

【基本的な記載事項】

- ・ 1年間の授業を行う期間が確認できる資料（別添資料 4512-i4-1）
- ・ シラバスの全件、全項目が確認できる資料、学生便覧等関係資料（別添資料 4512-i4-2～8）
- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数（別添資料 4512-i4-9）
- ・ インターンシップの実施状況が確認できる資料（別添資料 4512-i4-10）
- ・ 指標番号5、9～10（データ分析集）

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- アクティブラーニングである演習、実験、輪講を多く実施 [4.1]
  - ・ 理学部コースツリー（別添資料 4512-i3-1）（再掲）
- フィールドワーク授業の実施（地球惑星科学科、生命理学科（臨海）） [4.1]
  - ・ 地球惑星科学科での学び方（別添資料 4512-i4-11）
  - ・ 公開臨海実習・研修会等の開催実績（別添資料 4512-i4-12）
- 多様な学修機会を得るため、他学科、他学部開講科目の互換単位数の制限を撤廃 [4.1]
- 多様な学修機会を設定 [4.1]
  - ・ Nagoya University EMI Project（別添資料 4512-i4-13）
  - ・ Studium Generale G30 for Everyone（別添資料 4512-i4-14）
  - ・ 装置開発室実習  
理学研究科装置開発室（別添資料 4512-i4-15）
  - ・ 国際臨海実習  
公開臨海実習・研修会等の開催実績（別添資料 4512-i4-12）（再掲）
- 若手教員、海外大学での勤務経験者を積極的に採用し、多様性を確保 [4.1]
  - ・ 理学研究科中長期ビジョン（全体像）抜粋（別添資料 4512-i4-16）
- 留学生及びG30プログラムを担当する教員を採用し、外国人教員と日本人教員との間で意見・情報などを相互に交換しながら、G30プログラム教育の改善を推進 [4.1]
  - ・ 留学生G30担当教員（別添資料 4512-i4-17）
- インターンシップ参加の推奨 [4.2]（別添資料 4512-i4-18～19）
- ICT 各学科の情報基礎教育の実施 [4.3]
  - ・ 名大の授業（別添資料 4512-i4-20）
- 共同利用拠点の活用として、臨海実験所での実習及び講義の実施 [4.8]
  - ・ 先端マリンバイオロジーに関するグローバル教育共同利用拠点（別添資料 4512-i4-21）

<必須記載項目5 履修指導、支援>

【基本的な記載事項】

- ・ 履修指導の実施状況が確認できる資料 (別添資料 4512-i5-1)
- ・ 学習相談の実施状況が確認できる資料 (別添資料 4512-i5-2)
- ・ 社会的・職業的自立を図るために必要な能力を培う取組が確認できる資料 (別添資料 4512-i5-3)
- ・ 履修上特別な支援を要する学生等に対する学習支援の状況が確認できる資料 (別添資料 4512-i5-4)

【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 学修支援を実施

数理学科

Cafe David (毎日昼休み：教員やTAが待機)

多元数理科学棟の2階エレベーター前で、毎日昼休みもしくは夕方方に教員やTAを交えてのオフィスアワー「Cafe David (カフェ・ダヴィッド)」を開催している。

数学の講義・演習・少人数クラスに対する質問がある学部学生や大学院生、数理学科ってどんな所か知りたいと思っている理学部1年生、または、大学院を受けることを考え、多元数理の雰囲気を知りたいと思っている人、楽しい数学の話を知りたい人や話りたい人も歓迎している。

物理学科

Cafe Quante (毎週1回2時間：TAが待機)

Café quante(学習相談コーナー)では、物理の大学院生が学部生の質問を受け付けている。

化学科

助教層が開講する4年生(受験前)の演習講義

→G30向け：学生がTAとなって日本人学生を支援(NUEMI) [5.1]

- 同窓会によるキャリア支援 [5.3]

理学同窓会 (別添資料 4512-i5-5)



時間：毎週水曜日(祝祭日・長期休暇を除く)  
16:30~18:30

春学期：4月17日~7月17日  
秋学期：10月2日~12月18日, 1月8日~1月22日

Café quante(学習相談コーナー)では、物理の大学院生が学部生の質問を受け付けています。授業で分からなかったことや、勉強していて出てきた疑問、大学院生に相談してみたいことなど、ぜひ気軽に聞きに来てください。コーヒー、お茶やお菓子(無料)を用意して待っています。

場所：B503 物理学教室学生ラウンジ(B5 前のガラス張りの部屋)  
スタッフ：E研 藤原(D1), C研 植田(M1)

### <必須記載項目 6 成績評価>

#### 【基本的な記載事項】

- ・ 成績評価基準（別添資料 4512-i6-1）
- ・ 成績評価の分布表（別添資料 4512-i6-2）
- ・ 学生からの成績評価に関する申立ての手続きや学生への周知等が明示されている資料（別添資料 4512-i6-3）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

### <必須記載項目 7 卒業（修了）判定>

#### 【基本的な記載事項】

- ・ 卒業又は修了の要件を定めた規定（別添資料 4512-i7-1～2）
- ・ 卒業又は修了判定に関する教授会等の審議及び学長など組織的な関わり方を含めて卒業（修了）判定の手順が確認できる資料（別添資料 4512-i7-1）（再掲）、（別添資料 4512-i7-3）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

### <必須記載項目 8 学生の受入>

#### 【基本的な記載事項】

- ・ 学生受入方針が確認できる資料（別添資料 4512-i8-1）
- ・ 入学者選抜確定志願状況における志願倍率（文部科学省公表）
- ・ 指標番号 1～3、6～7（データ分析集）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- G30、推薦入試、GSC を通じた高大連携[8.1]
  - ・ グローバルサイエンスキャンパス「2019 名大 MIRAI GSC」（別添資料 4512-i8-2）
- 多様な学生の入学のための高校生向け行事の開催[8.1]
  - ・ 数理学科 数学アゴラ（別添資料 4512-i8-3）
  - ・ 理学部地球惑星科学科主催のサイエンスカフェ（別添資料 4512-i8-4）
  - ・ スーパーサイエンスハイスクール（SSH）高大連携（別添資料 4512-i8-5）
  - ・ 高校生対象の臨海実習  
臨海実習・研修会等の開催実績（別添資料 4512-i4-12）（再掲）

## 名古屋大学理学部 教育活動の状況

### <選択記載項目A 教育の国際性>

#### 【基本的な記載事項】

- ・ 協定等に基づく留学期間別日本人留学生数（別添資料 4512-i4-9）（再掲）
- ・ 指標番号 3、5（データ分析集）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 学科ごとに国際化への取り組んでいる（G30、NUPACE） [A. 1]
  - ・ G30：学生数及び特長（別添資料 4512-iA-1）
  - ・ NUPACE の概要及びデータ（別添資料 4512-iA-2～3）
  - ・ 学科別取り組み
    - 数理学科 英語のオムニバス講義
    - 物理学科 ケンブリッジ大学との交流
    - 化学科 エジンバラ、ミュンスター大学との交流
      - 工学研究科・工学部の化学系専攻と共に Campus Asia プログラムを推進し、日中韓6大学間で質を伴った留学による相互教育交流を行っている。
      - 希望する学生を対象として国際標準テスト GRE を実施
    - 生命理学科 マンチェスター大学との交流
    - 地球惑星科学科 卒論は原則英語
    - 臨海実験所 ガ ज्याマダ大学の学生受け入れ
      - 生命理学専攻で学位を取得したインドネシアのガ ज्याマダ大学の教授（Department Head）による参加者選抜（面接と英語の試験）を実施し、成績上位者4～5名を招待した。
      - H31：1名（7/13～17の5日間）
      - H30：4名（7/12～17の6日間）
      - H29：3名（7/6～14の9日間）
      - H28：4名（7/4～9の6日間）

### <選択記載項目B 地域連携による教育活動>

#### 【基本的な記載事項】

（特になし）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

- 地域連携による教育活動を行っている [B. 0]
  - ・ 坂田・早川レクチャー（別添資料 4512-iB-1）
  - ・ 施設公開：2008 ノーベル賞展示室\_プリンキピア特別講演会（別添資料 4512-iB-2）
  - ・ 地球惑星科学科主催のサイエンスカフェ（別添資料 4512-i8-4）（再掲）
  - ・ 理学懇話会（別添資料 4512-iB-3）



## 名古屋大学理学部 教育活動の状況

理学部を構成する5学科持ち回りで、一般市民を対象にサイエンスの楽しさを講演するもので、講演内容は理フィロソフィアにまとめられる。

### <選択記載項目C 教育の質の保証・向上>

#### 【基本的な記載事項】

(特になし)

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

○学生による授業評価 [C.1]

### <選択記載項目D リカレント教育の推進>

#### 【基本的な記載事項】

- ・ リカレント教育の推進に寄与するプログラムが公開されている刊行物、ウェブサイト等の該当箇所 (別添資料 4512-iD-1)
- ・ 指標番号2、4 (データ分析集)

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

(特になし)

## 分析項目Ⅱ 教育成果の状況

### <必須記載項目1 卒業（修了）率、資格取得等>

#### 【基本的な記載事項】

- ・ 標準修業年限内卒業（修了）率（別添資料 4512-ii1-1）
- ・ 「標準修業年限×1.5」年内卒業（修了）率（別添資料 4512-ii1-2）
- ・ 博士の学位授与数（課程博士のみ）（入力データ集）
- ・ 指標番号 14～20（データ分析集）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

### <必須記載項目2 就職、進学>

#### 【基本的な記載事項】

- ・ 指標番号 21～24（データ分析集）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

### <選択記載項目A 卒業（修了）時の学生からの意見聴取>

#### 【基本的な記載事項】

- ・ 学生からの意見聴取の概要及びその結果が確認できる資料  
（別添資料 4512-iiA-1）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

### <選択記載項目B 卒業（修了）生からの意見聴取>

#### 【基本的な記載事項】

（特になし）

#### 【第3期中期目標期間に係る特記事項】

（特になし）

**<選択記載項目C 就職先等からの意見聴取>**

**【基本的な記載事項】**

(特になし)

**【第3期中期目標期間に係る特記事項】**

(特になし)

名古屋大学理学部

【参考】データ分析集 指標一覧

区分	指標番号	データ・指標	指標の計算式
1. 学生入学・在籍状況データ	1	女性学生の割合	女性学生数／学生数
	2	社会人学生の割合	社会人学生数／学生数
	3	留学生の割合	留学生数／学生数
	4	正規課程学生に対する科目等履修生等の比率	科目等履修生等数／学生数
	5	海外派遣率	海外派遣学生数／学生数
	6	受験者倍率	受験者数／募集人員
	7	入学定員充足率	入学者数／入学定員
	8	学部生に対する大学院生の比率	大学院生総数／学部学生総数
2. 教職員データ	9	専任教員あたりの学生数	学生数／専任教員数
	10	専任教員に占める女性専任教員の割合	女性専任教員数／専任教員数
	11	本務教員あたりの研究員数	研究員数／本務教員数
	12	本務教員総数あたり職員総数	職員総数／本務教員総数
	13	本務教員総数あたり職員総数(常勤、常勤以外別)	職員総数(常勤)／本務教員総数 職員総数(常勤以外)／本務教員総数
3. 進級・卒業データ	14	留年率	留年者数／学生数
	15	退学率	退学者・除籍者数／学生数
	16	休学率	休学者数／学生数
	17	卒業・修了者のうち標準修業年限内卒業・修了率	標準修業年限内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	18	卒業・修了者のうち標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了率	標準修業年限×1.5年以内での卒業・修了者数／卒業・修了者数
	19	受験者数に対する資格取得率	合格者数／受験者数
	20	卒業・修了者数に対する資格取得率	合格者数／卒業・修了者数
	21	進学率	進学者数／卒業・修了者数
	22	卒業・修了者に占める就職者の割合	就職者数／卒業・修了者数
	4. 卒業後の進路データ	23	職業別就職率
24		産業別就職率	産業区分別就職者数／就職者数合計

※ 部分の指標（指標番号8、12～13）については、国立大学全体の指標のため、学部・研究科等ごとの現況調査表の指標には活用しません。